

第九たいむず



No. 10 2009. 8.13

●8/16は南八幡地区のお祭り。
pm8時半～9時に花火大会があります♪

通刊852 担当 M

ホームページ:www.takasaki9.com メールアドレス:takasaki9@myad.jp

〒370-0046 高崎市江木町483 TEL/FAX:027-323-0233(団長渡辺) 携帯電話:080-5474-2673(事務局長 中村)

◆納涼祭(8月23日 サマーレッスン終了後) 受付中です

日時:8月23日(日) 場所:ビストロAIAI 費用:3500円(飲み放題)

レッスンだけでなく、お友達を増やし、ゆっくり楽しくおしゃべりできる時間をご用意しました。

おしゃべりに花を咲かせるお料理と練習の疲れを癒す飲み物も豊富に用意します。せっかくの合唱団、新しいお友達をたくさんつくりましょう。詳しい情報は受付の申込書にて!

◆今後の練習会場+予定 8月は高崎市中央公民館、9月は教会へ戻ります。

日付	曜日	メイン会場	パート練習	
8月20日	木	集会ホール	視聴覚室	通常練習
8月23日	日	集会ホール	-	午前 スロヴェニアレッスン
		集会ホール	視聴覚室	午後 第九サマーレッスン
8月27日	木	視聴覚室	音楽舞踏室	通常練習
9月3日以降	木	教会	有	通常練習

◆受付よりご案内 *団員登録はお早めに。

団員登録をお早めにお願いたします。 団費17,000円(新規の方は+入団金2,000円)

楽譜の販売 第九 2,300円、ハレルヤ 750円、クリスマスメドレー I (山本直純編曲)100円

メイコンサートDVD 1,000円、第九パート別練習用CD 1,900円、スロヴェニアの歌CD 200円

コンサート情報・行事情報

受付のチラシも是非お持ち下さい!

☆第二回中之条ビエンナーレ2009 美術+故郷+温泉 ←ソプラノ桑原かよさんが実行委員です!

2009年8月22日(土)~9月23日(水) 9:30~17:00木曜定休/入場無料 (ワークショップ有)

中之条ビエンナーレ公式HP <http://nakanajo-biennale.com>

☆高崎市少年少女合唱団・定期演奏会 ←チケットはアルト長島さんまで

2009年9月5日(土)13:30開場 14:00開演 高崎市文化会館 入場料500円全席自由

☆サロンコンサート「ドイツ歌曲とケーキの甘い関係」

2009年9月19日(土) 19:00開演 岩宿博物館 入場料2,000円(入館料、飲み物含む)

シューベルト、シューマン、ブラームス作曲のドイツ歌曲の代表作と、ケーキとコーヒーを楽しめます。

坂本真由美(S)、田村稔(T)、住谷伴(B)、田村聡子(P、田村先生の奥様です。) 第九のHPからリンク中。

☆第4回群馬オペラ協会公演 オペラ「カルメン」 小林薫子さん、太田さん、関口さんが合唱で出演

2009年9月27日(日) 13:30開演 ベイシア文化ホール(群馬県民会館)大ホール

大人自由席5,000円、高校生以下自由席2,000円、座席予約券1,000円

☆オペラ「蝶々夫人」10/9、11 東京文化ホール キャスト:蝶々夫人大山亜紀子他 チケットは洋子先生まで

◆ヨーロッパ公演 オプショナルツアーのご案内(参加者の方には別途案内をお配りします。)

ヨーロッパ公演のオプショナルツアーが決定しましたのでご案内いたします。23日に改めて説明し、参加の有無を確認いたします。

1. 10月24日(土)18時 ベートーヴェン「荘厳ミサ」

会場:Auditorium Parco della Musica アウディトリウム パルコ デッラ ムーヅカ(音楽公園)内の大ホール

管弦楽:サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団

費用:行帰りのバス代込みで 12000円 or 9000円 or 7200円(座席により異なります)

2. 10月25日(日) 世界遺産「聖地アッシジ観光」

所要時間約9時間 8時~17時(ローマより片道184km約2時間) 費用:12000円日本語ガイド付

◆スロヴェニア公演 指揮者紹介 2009年10月28日(水)20時開演

指揮者 : 米津俊広

<http://web.mac.com/yonezu72/yonezu/Home.html>



スロヴェニア・フィルハーモニーの指揮者で、今回の第九公演に尽力してくれています。フィルハーモニーのスポンサーはプジョーであるため、他のオーケストラとの公演を模索してくれました。そのため、RTV オーケストラ+米津氏という組み合わせとなりました。

1972年愛知県生まれ。愛知教育大学音楽科、同大学院を経て、東京音楽大学指揮科研究生にて指揮を学ぶ。指揮を広上淳一、紙谷一衛、湯浅勇治、曾我大介各氏に師事。またムジカ・リヴァ国際音楽アカデミー指揮マスターコース(2002、2003年)、プラハ、ウィーン、ブダペスト国際アカデミー指揮マスターコース(2004年)ポルトローシュ国際アカデミー指揮マスターコース(2005年)などのヨーロッパ各地で行われた指揮コースに参加。イサーク・カラブチェフスキー、イストヴァン・デネッシュ、ジョージ・ペーリヴァニアン各氏に師事した。

東京音楽大学在学中より指揮活動を開始。日本各地のオーケストラ、オペラ等の客演を重ね、2006年9月、スロヴェニア・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督ジョージ・ペーリヴァニアン氏の推薦により、同オーケストラ音楽監督のアシスタントコンダクターとして2008年9月まで同管弦楽団にて研鑽を積んだ。2006年11月、スロヴェニア・フィルハーモニー管弦楽団特別演奏会「モーツァルトプログラム」を指揮してデビュー。その成功により即座に代役として、ワシントン・ナショナル交響楽団首席チェロ奏者、デイビット・ハーディー氏との協奏曲を含む、アメリカ大使館主催による特別演奏会を指揮した。12月にはリエカ・フィルハーモニー管弦楽団(クロアチア)に客演、地元紙「Novi List」にて「非常にエレガントで洗練された正確な指揮。調性、リズム、ドラマ性が強調され、聴衆が息をのむような極上なコンサートであった」と絶賛された。

2007年3月、5月、10月、12月にはスロヴェニア・フィルハーモニー管弦楽団「青少年のためのコンサートシリーズ」を指揮。4月には若い音楽家のためのコンサートに出演、演奏会の模様はスロヴェニア全土にテレビ放映された。同年4月にはリュブリャナ音楽アカデミー管弦楽団のコンサートツアーに同行。ツアー最終日のベオグラード公演(セルビア)を指揮した。

2007年10月、急病のミラン・ホルヴァート氏の代役として急遽抜擢され、スロヴェニア・フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会に登場。大成功をおさめ、またその鮮烈な定期演奏会デビューは、現地での新聞、ラジオでも紹介された。さらに2008年2月には、スロヴェニア・フィルハーモニー管弦楽団サラエボ公演(ボスニア・ヘルツェゴビナ)の指揮者に抜擢され、「"サラエボの冬" 国際芸術祭」にて同オーケストラを指揮した。

2008年6月、リュブリャナで開催された「ユニクム国際音楽祭」に登場。初演2作品を含む現代音楽プログラムでスロヴェニア・フィルハーモニー管弦楽団を指揮。7月にはスロヴェニア・フィルハーモニー管弦楽団国内ツアーの指揮者として、「ポヒン夏の音楽祭2008」を含む3都市にて同オーケストラを指揮。ロガルスカ・ドリーナ公演はスロヴェニア全土にテレビ放映された他、新聞、雑誌にも大きく取り上げられた。

2009年1月、リュブリャナ音楽アカデミー管弦楽団定期演奏会に客演、3月にはサラエボ・フィルハーモニー管弦楽団にも客演した。現在2008-2009シーズンもスロヴェニア・フィルハーモニー管弦楽団を定期的に指揮している。

2008年9月、第28回マスタープレイヤーズ国際音楽コンクール(ヴェネツィア)の指揮部門にて、最高位並びにブルーノ・ワルター賞(Best Conductor & Bruno Walter Prize)を受賞。2009年3月にはスロヴェニアにて活躍する外国人に贈られる賞「Guest star 2008」の文化部門の4人にノミネートされた。平成19年度、文化庁新進芸術家海外留学制度研修員。